



わになって

幕別町発達支援センター

令和8年度

第2号

令和8年6月22日発行

だんだんと暑い日が増え、夏が近づいてきましたね。朝晩と日中の気温差が大きく寒暖差で体調を崩しやすい時期ですので、十分な休息をとりながらこれからの夏に向けて元気に過ごしていきましょう。

発達支援講演会のお知らせ

毎日の子育ての中で、「どうしてこんな行動をするんだろう?」「どう関わるのがいいのかな」と悩むことはありませんか?子どもの育ちは、毎日の「生活」や「遊び」といった日常の積み重ねの中で育まれていきます。今回は日々の生活や遊び、集団活動の課題が「感覚統合」という視点を取り入れたときに、どのように関わりや子どもの様子が変わるのかを講師に講演していただきます。

講師 世良彰康さん(合同会社北海道療育研究所こども支援ルーム代表・作業療法士)

日時 **8月7日(金) 午後6時30分から**

場所 札内コミュニティプラザ(幕別町札内青葉町311番地11)集会室1・2
(Zoomでも同時配信)

申込 **8月5日(水)**までに、電話、メール、チラシに記載のQRコードでお申し込みください。

*詳細は、発達支援講演会についてのチラシをご覧ください。

カラフル(子どもの育ちをささえる親の会)

年齢や通っている保育所・幼稚園・学校は違っても、子育ての悩みや不安は一緒。そんな子育てに奮闘している町内の保護者が集まり、気軽に話せる場所です。先輩お母さんと顔見知りになることで“つながり”も持てますよ♪

今年度は、座談会を4回、勉強会1回をおこなう予定です。託児もありますので、ぜひ気軽にご参加ください。

親の会への入会は随時受け付けております。興味があれば担当にお声かけください。

1回目の座談会は 6月25日(木) 18:30~ 札内コミュニティプラザでおこないます。



所属訪問について

センター職員が、お子さんが通っている保育所(園)、幼稚園、こども園、学校を訪問します。お子さんの集団での様子を見学した後、担任の先生と情報を共有し、今後の療育に活かしていきます。

7月中旬より、順次訪問します。日程は担当からお知らせいたします。

*月4回療育のお子さんは、7月または8月の療育が月3回となりますのでご了承ください。

公開療育について(年長児)

年長児のみ、保育所(園)、幼稚園、こども園の担任の先生が療育を見学に来ます。

療育のねらい、お子さんの様子などを共有し、お子さんに必要な支援について(就学も見据えて)連携していきたいと考えています。

6月中旬より、順次おこなっています。体調不良等で欠席の場合はご連絡をお願いいたします。

本の貸し出しについて

発達支援センターの本を借りる際には、待合室の図書貸出記録簿にご記入ください。また、センターの本の貸し出しに加え、図書館と連携し、時期ごとにテーマを決めて本の貸し出しをおこなっています。1人3冊まで借りることができ、借り方については掲示の通りですが、借りる・返すときには必ず担当に声をかけてください。

本を通して、気持ち、言葉、知識などさまざまなことを育むことができます。本を好きになる入り口として、身近に感じる環境をと考えています。ぜひご利用ください。



OTコラム『外を感じる』

文：江波

暖かくなってきて、お休みの日は朝起きて天気が良いと、わけもなく外に出かけたくなくなってしまう作業療法士の江波です。

センターでお子さんの運動面について相談を受けた際に、「外に行ってたくさん身体を動かしてください」とお伝えすることが多くあります。今回は、外に出ることの意味と効果について考えていければと思います。

昨年度のコラムでは、『脳の発達に必要な栄養素は様々な感覚刺激です』とお伝えしました。外に出ることで得られる感覚(栄養)にはどのようなものがあるのでしょうか？

○ 自然から得られる感覚(栄養)がある。

太陽の光や温度、木々のざわめきや車の音、肌に触れる風など・・・感覚(栄養)がたくさんあります。

他にも、新たな人との出会いや開放的な空間での情緒の安定性なども考えられますが、屋外に行くことで得られるメリットとして大きいのは、上記の感覚(栄養)が『時間の経過や気象の変化、場所の変化によって常に変化し続けている』ことです。それらの変化に対応していく中で、適応する力が身に付いていくと言われています。

○ 運動面でもたくさんの感覚(栄養)が得られる。

平坦に見える道路でも上り下りやでこぼこがあるのが当たり前です。公園に行ってみると、草の上であったり、雨が流れた後の波打った土の上、落ちていた小石、段差や小山を駆け上ったり駆け降りたり・・・。

運動面では、常に変化し続ける環境の中でバランスを取りながら走ったり、跳んだり、時には転んだり・・・。小さいうちから転び経験しておくことで、無意識に受け身を取るなどの転び方が身に付き、“こうなら転ぶ＝ここまでは転ばない”と遊びの中で危険を学んでいきます。この中で運動面でも適応する力が身に付いていきます。

子供は汗をかきやすく、のどの渇きに気が付かないことも多いです。大人が注意して水分補給を促してあげること、また最近は暑すぎる日も増えており最高気温が40℃以上の『酷暑日』なんて言葉もできました。帽子の着用と、外に行く時間帯や気象情報には留意していただきたいと思います。

※上記は一般的なお話です。個人差がありますので気になることがありましたらご相談・お問い合わせください。

遊びの紹介

ふわふわシャボン玉 にこにこコミュニケーション！

文：大場

シャボン玉遊びは、親子でやり取りを楽しめる遊びです。「もう1回」「みてみて！」「大きいね！きれいだね！」等のコミュニケーションにも繋がりがやすく、交代で行うことで相手への関心を高めることができます。また、同じシャボン玉を見たり、追いかけることで「楽しいね！」と気持ちを共有できたり、「せーの」で沢山のシャボン玉を作ること、一緒に遊ぶことの楽しさに繋がります。

シャボン玉は作る楽しさだけでなく、ふわふわと飛んでいく様子やキラキラと輝く美しさに心動かされ、自然と笑顔になれるところもシャボン玉の魅力ではないでしょうか。

ぜひ、お天気の良い日にお子さんと一緒に遊んでみてください♪

～割れづらい！？しゃぼん玉液の作り方～

- ① 水→砂糖→洗濯のり、の順番で混ぜる。
- ② 食器用洗剤を入れて混ぜる。

*①②泡立たないように
ゆっくり混ぜることがポイントです！

～材料～

- ・水 200ml ・洗濯のり 50ml
- ・砂糖 大さじ1 ・食器用洗剤 50ml



～その他にシャボン玉で育つ力～

- ・ 息を長く吹いたり、強弱をつけることで呼吸をコントロールする力や、口の周りの筋肉の発達を促します。
- ・ 同じものを一緒に見て「シャボン玉丸だね」「ばちんと割れたね」等のやり取りの中で言語理解に繋がります。
- ・ シャボン玉をじっと見ることで1つの物に注目する力や目で追う力に繋がります。
- ・ 手を伸ばして触ろうとしたり、追いかけたりすることで、全身運動やバランス感覚が育ちます。